



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

[本日のプログラム]

第418回 平成8年 7月12日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング

「それでこそロータリー」

3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 新年度方針

四大奉仕委員長

8. 点 鐘

会 長	伊 東 忠 寛
副会長	徳 丸 彰 一
幹 事	赤 木 達 也
会 計	宮 原 建 樹
録 取	垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)
 例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015
 事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614-9
 佐土原町建築業協会内
 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

第417回例会記録

(1996. 7. 5)

☆会長の時間

伊東忠寛君

皆さん今日は、本日は第417回例会です。1996-97年度の第1回例会で、新しいメンバーでのスタートであります。

第8代会長の藤堂孝一君から引継ぎまして、私が第9代会長ということになります。

藤堂直前会長の素晴らしい当クラブの運営に感服し、改めて深甚な敬意を表す次第であります。

ロータリー歴も浅く、不勉強と言うより浅学非才な私でありますので、その責任の重大さを痛感しております。

私の人生の中で、今年の1年は大変長く感じられます。それは、平成8年1月1日から平成9年6月30日までの18か月であるからです。

温故知新…先達者の求めたものを求め、1日1日が充実した毎日でありたいと願っています。

先日(7月2日)の宮崎日日新聞に、都城市出身の建設省事務次官藤井治芳氏が、7月3日で退官されるのに伴い、次のようなコメントが載っていました。

『私は、駅伝競争の選手のようなものであった。自分の担当する区間を精一杯走った。次の区間の選手に無事にタスキを渡すことができ、非常にさばさばしている。』

これは、まさに今の藤堂直前会長のご心境であると思います。

さて、私がタスキを受け継いだ今、次の区間は難コースであるかも知れませんが、コースを間違わないよう、リタイヤしないように十分留意して、スマートに責任を全うしたいと考えています。

NHKの大河ドラマ『秀吉』をご覧になっている方も多いと思います。いろいろな見方・考え方があろうかと思いますが、私は、何事にも喜びを持って全力投球する…そのひたむきな情熱を傾注した男の生き様に強く感動させられます。

それと、秀吉を支え励ます妻『おね』の内助の功も大きいと思います。

本年度の会長・幹事として、この秀吉の生き様を見習いながら、名コンビで佐土原ロータリークラブの皆様のお手伝いをしたいと考えます。

『己の従うところに主となれば、為すこ皆真なり』という言葉があります。

ご経験豊かな皆様方のアドバイスをいただきながら、一生懸命頑張りたいと思いますので、どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。

☆幹事報告

赤木達也君

力強い伊東会長を補佐し、福井前幹事のご指導を受けながら、何とか1年間幹事の大役を務めさせていただきたいと考えております。今から少しずつ勉強していきたく思っていますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

例会変更通知

*宮崎西RC 7月19日18:00
ホテル・フェニックス

☆出席報告

委員長代理 神宮寺 利夫君

会員数	31名
H C出席者数	29名
欠席者数	2名
出席率	93.5%
欠席者名	柳田・井下

☆親睦委員会より

委員長 林 厚雄 君

親睦委員会を担当させていただくことになりました。1年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて第1報ですが、11月23日(土)～24日(日)に鹿児島アリーナで、国際ロータリー第2720・第2730地区連合年次大会が開催されます。

同大会を記念して、前日に親睦ゴルフ大会が計画されていますので、参加ご希望の方は、7月16日までに私に連絡してください。

◇ 7月セレモニー ◇

今月、誕生日、結婚記念日をお迎えになる次の方に、伊東会長より記念品をお贈りして、会員一同心からお慶び申し上げます。

誕生日祝い

田村勝二君 加藤仙之君
福田 誠君 伊東俊春君

結婚記念日祝い

伊東俊春君 林 厚雄君

新年度方針

☆会長 伊東 忠 寛 君

第1. 会員増強の推進

第2730地区の目標は10%の純増であります。当クラブの目標は6名増を設定したいと思います。

1. 5人一組のチームを編成し、『一組1名の新会員確保』の目標管理。
2. 会員増強委員会・職業分類委員会・会員選考委員会を核として、新入会予想対象者の把握。
3. 新入会対象者に対する組織的な働き掛け。
4. 退会者の防止。
(1) 魅力のある例会。
(2) 退会事前徴候の把握と、当該者へのアドバイス。
(3) 退会理由の解明。

第2. 魅力ある例会の運営

- ◎先ず例会の出席率を高め、活性化を図る。
- ◎全会員が出席規定をよく習得し、その趣旨と重要性を理解する。
- ◎出席不良は退会の事前徴候であり、早急に把握して声掛けを行い、原因となっている問題点を解決するように努める。
- ◎新会員を計画的に他クラブの例会に出席(メイクアップ)させ、ロータリアンとしての意識を高め、ロータリーの連帯感を深めさせる。

いろいろな問題点を早急に検討して、「佐土原ならでは…」と言える楽しい、魅力ある例会の運営に努めたいと思います。

第3. ロータリー財団と米山奨学会への支援

1. 本年は、ロータリー財団80周年、国際親善奨学金50周年の記念すべき年度に当たり、積極的支援と活用が重点として挙げられています。

本年度も一般寄付の目標は会員一人当たり110\$で、ベネファクターも20名確保となっています。

2. 米山奨学金の支援は、全国34地区中最下位より2番目という低位にあり、上位を目指して努力しなければなりません。

現在、当クラブの「ロータリー財団当年度会員一人当たり寄付額」は、第2730地区では第1位ですが、今後ともこれを維持し、要請に応えていかなければならないと思います。

第4. 佐土原ロータリークラブ創立10周年記念行事実行委員会（仮称）の設置

1997年10月で、クラブ創立10周年を迎えます。次年度の早い次期に『佐土原ロータリークラブ創立10周年記念行事実行委員会（仮称）』を結成し、全会員で取組んで行く体制を整える必要があります。

新年度方針の詳細は、別途配布しました『クラブ運営方針』をご覧ください。

☆幹事 赤木 達也 君

佐土原ロータリークラブは、次年度に創立10周年を迎えます。これまで、役員の方々のご努力により、会員増強を図りながら、クラブの活性化と活動の充実に努めてきました。今年度も新たな目標を設定し、会員一同協力して、会員の増強と資質の向上を進めなければなりません。また、会員一人一人の存在感を重視した活動を展開し、クラブ会員としての意識の高揚を図りながら、共に支え合いの心で一致した行動ができるように努めなければならないと考えます。

通常業務においては、会長の基本方針に則り、クラブ運営が円滑に行われるよう、事務局と一体となって推進いたしますので、会員諸賢の格別のご指導とご協力をお願いいたします。

◎運営方針

1. 会長のクラブ運営方針を理解し、協力・実行体制の整備に努める。
2. 会長の意志を把握し、奉仕活動を積極的に実践する。
3. 町民と共にある『佐土原ロータリークラブ』を目指し、奉仕を通して、その存在の理解を深めるよう努める。
4. 会員の全員参加のクラブ活動、各委員会の活動の充実・活性化を促す。
5. 会長の任務を理解し、協力して職務が遂行できるように努める。

会長・幹事のメイコンビで、明るく楽しいクラブを醸成していきたいと考えております。よろしくご依頼申し上げます。